

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業					
			番号	事務事業名	評価 区分	評価		
I 市民と行政との協働によるまちづくり	市民主体のまちづくりの推進	市民主体のまちづくりの推進	001	まちづくり推進事業	1次	A	地域活性化事業を支援することで、名寄市の活性化を図ることができることから、現状のまま継続する必要があると考える。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
						2次	A	1次評価のとおり。
			コミュニティ活動の推進	002	地域コミュニティのあり方の検討	1次	A	地域連絡協議会代表者会議等の開催や庁内検討などにより、地域コミュニティ組織のあり方の検討していくことは、望ましい組織やコミュニティの推進のため、現状のまま継続する必要があると考える。
		WG				A	1次評価のとおり。	
		外部				A	1次評価のとおり。	
						2次	A	1次評価のとおり。
			市民主体のまちづくりの推進	005	町内会自治活動交付金事業	1次	A	単位町内会への財政的支援を行うことで、コミュニティ活動の推進を図ることになるため、現状の支援は必要であると考ええる。
		WG				C	交付金の交付方法について、活動実績に応じた交付の検討をしてみようか？	
		外部				A	社会福祉協議会の町内会ネットワーク事業補助金により、活動に応じた対応は行われている。	
						2次	A	1次評価のとおり。
		広報・広聴活動の充実と情報公開	006	多様な媒体による広報の推進	1次	A	平成29年度に実施した「名寄市広報のあり方検討委員会」において提出された課題（名寄で活躍する方の特集記事、名寄高校新聞部との連携（自治体職員目線ではない方の記事）など）を確認しながら作業できていると思われる。ただ、まだできていないもの（カラー刷り、読み手の世代を意識した表紙など）もあるので着実にクリアしながら進めたい。	
	WG				A	課題については、継続的に取り組む。電子媒体の周知をする。		
	外部				A	1次評価のとおり。		
					2次	A	1次評価のとおり。	
			007	多様な広聴機会の創出	1次	B	広聴機会を増やす事業を創出できなかったため、まずは1つでも多くの機会を作り出したい。	
	WG				B	1次評価のとおり。		
	外部				B	出前トーク以外の多様な手法が期待される。		
					2次	B	1次評価のとおり。	
		人権尊重と男女共同参画社会の形成	人権教育・啓発活動の推進	008	人権教育・人権啓発活動の充実	1次	A	一人ひとりの人権が守られる社会を目指し、広く市民に人権意識の普及・高揚を図るため、継続した啓発が必要。
WG	A					1次評価のとおり。		
外部	A					1次評価のとおり。		
2次	A					1次評価のとおり。		
	男女競争参画社会の推進	010	健康づくり・暴力防止推進事業	1次	A	上記点検項目から現状のまま継続する。		
WG				A	1次評価のとおり。			
外部				A	1次評価のとおり。			
				2次	A	1次評価のとおり。		
	情報化の推進	情報通信基盤の活用	011	Wi-Fi提供体制整備の検討	1次	D	マイナンバーによる情報連携がスタートしたことにより、光ケーブルネットワークを活用した形でのWi-Fi提供体制の構築は困難になった。	
WG					D	事業実施が困難なため、廃止が望ましい。		
外部					D	本事業としては1次評価のとおり廃止が望ましい。		
2次					D	1次評価のとおり廃止が望ましい。		
	交流活動の推進	国内交流の推進	013	名寄市・杉並区交流自治体交流事業	1次	A	平成元年の交流自治体協定締結以降、阿波おどりを通じた相互訪問などの人的交流や杉並区での物産展開催などの経済交流などを行うなかで、様々な分野での交流に発展している。今年度30周年という大きな節目を迎えることから、周年事業を実施し、交流人口拡大による更なる地域活性化を目指す。	
WG					B	公平性を保つため、多くの市民が双方のイベントへ参加できたり、市民の意識の醸成の高まりを促していただきたい。		
外部					A	1次評価のとおり。今後も様々な面で広がりを見せる可能性がある。		
2次					A	1次評価のとおり。		

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
I 市民と行政との協働によるまちづくり	交流活動の推進	国際交流の推進	015	名寄市・リンゼイ姉妹都市交流事業	1次	A	市民で構成されている交流団体は昭和45年から交流事業を担っており、50年続いている姉妹都市交流を推進するに当たり、今後も交流団体が行う事業を側面から支援する必要がある。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			016	名寄市・ドーリンスク市友好都市交流事業	1次	A	ドーリンスク市との交流に係る市民周知や相互派遣以外の事業を実施することで、友好都市提携30周年に向けた市民の機運が高まるよう、今後とも側面から支援していくことは必要と考える。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			017	名寄市・台湾交流事業	1次	A	前年度の改善事項であった交流窓口の一本化を実施したこと、また、中学生台湾派遣事業等で事業内容の一部見直しを行い、経費削減により効率性を高めたため。
		WG			A	1次評価のとおり。	
		外部			A	1次評価のとおり。	
		018	移住促進事業	1次	C	お試し移住住宅の利用者が増えたことによる、交流人口や地域消費の増加といった経済的効果が見込まれる一方、利用を通じての完全移住には結びついていない現状から内容の見直しを検討する必要がある。	
	WG			C	1次評価のとおり。		
	外部			C	1次評価のとおり。お試し移住住宅の利用に関しては、季節変動の平準化のための方法を検討。また、今後も利用者や地域の方との交流の場を提案し、地域の良さを感じてもらうことで移住につながればよい。		
	2次			C	利用時期の平準化に向けたPR強化や、利用者や地域の方々や交流できる場等を通して地域の魅力を感じてもらい、移住に繋がる利用となるよう進めていく必要がある。		
	健全な財政運営	財政運営の効率化	021	名寄市公共施設等総合管理計画の着実な推進	1次	B	財政状況を十分に考慮しながら、市民の方が真に必要で利便性の良い公共施設、公共インフラとするため、しっかりと議論を重ねる必要がある。
					WG	B	1次評価のとおり。
					外部	B	1次評価のとおり。
					2次	B	1次評価のとおり。
	効率的な行政運営	計画行政の推進	022	総合計画・総合戦略推進市民委員会及び総合計画策定審議会設置・運営	1次	A	自治基本条例に掲げる市民が主役のまちづくりの推進のため、引き続き市民参加のもと総合計画・総合戦略の策定、進行管理を行う必要がある。また、総合計画の着実な推進に向け、各施策の成果指標（KPI）の達成に向けた検証、必要に応じた見直しを引き続き実施していく。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
		職員の能力向上	023	研修事業	1次	B	派遣研修及び職場研修に積極的に取り組み、職員の能力向上を継続的に進めていくことは不可欠である。なお、自主研修に対する体制の改善整備については、現在e-ラーニングの導入などに着手し、令和元年度中に開始する予定である。
WG					B	1次評価のとおり。	
外部					B	1次評価のとおり。	
2次					B	1次評価のとおり。	
公民連携の推進		024	指定管理者制度の活用及び検証とPFI等の活用の検討	1次	A	民間の資金や能力を活用しながら公共施設の適正な管理体制を確保し、地域住民のニーズの多様化に効率的・効果的に対応していくためには、今後も継続した検証・検討作業を進めていく必要がある。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
Ⅱ 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり	健康の保持増進	健康づくりの推進	025	健康づくり運動 推進事業	1次	A	全市民を対象とした取り組みとして広く定着しており、健康の大切さや健康づくりに向けた意識啓発を図る上で重要な事業であることから、現状を継続させることが望ましいと考える。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
				2次	A	1次評価のとおり。	
		母子保健対策の推進	028	特定不妊治療費 助成事業	1次	A	少子化対策の一環として、不妊治療に係る経済的負担の軽減は必要であるため。
					WG	A	1次評価のとおり。
	外部				A	1次評価のとおり。	
			2次	A	1次評価のとおり。		
	地域医療の充実	地域医療機関相互 の連携強化	031	地域医療支援事 業の推進	1次	A	名寄市立総合病院が地方・地域センター病院事業として地域医療支援室事業をスタートして以来、へき地診療所等からの要望により医師派遣事業を継続してきている。昨今の医療事情により、派遣日数は年々増加傾向にあり、各地域住民の医療確保に努めている。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			033	地域包括ケアシ ステムの役割分 担	1次	A	地域医療構想を踏まえた地域包括ケアシステムの構築に向けて、今後も医療機関としてポラリスネットワークの運用・拡充に向けて取り組んでいく。
					WG	A	1次評価のとおり。
		外部			A	1次評価のとおり。	
		2次			A	1次評価のとおり。	
		034	医療スタッフの 確保	1次	A	地域医療確保のため重要な役割を果たしており、人的資源が不足する地域医療や地域保健健診についても維持・確保が図られている。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
		035	風連国民健康保 険診療所整備事 業	1次	A	今後、ますます病診連携により他医療機関との連携が必要となる中、初期診断を行う上で、医療機器整備が重要となってくるため。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
		036	病室等既存施設 の改善整備	1次	A	病院機能を維持するためにも、引き続き、適切な整備を行うことが必要と考える。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
			2次	A	1次評価のとおり。		
037		高度・一般医療 機器の更新整備	1次	A	病院機能を維持するためにも、計画的な機器更新は必要と考える。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
			外部	A	1次評価のとおり。		
			2次	A	1次評価のとおり。		
038	市立病院救命救 急センター施設 整備	1次	A	道北3次医療圏の地方・地域センター病院として、救命救急体制を確保している。また、専門医・看護師等の人材確保、研修や実習等を通じて各医療機関・消防署との連携も図られている。			
		WG	A	1次評価のとおり。			
		外部	A	1次評価のとおり。			
		2次	A	1次評価のとおり。			
039	新名寄市病院事 業改革プランの 推進	1次	A	策定した改革プランに掲げる機能や役割、地域連携などの実現に向けて、概ね計画通りに実施されており、経営の効率化も図られてきたことから、計画年度内に達成できる見込みである。			
		WG	A	1次評価のとおり。			
		外部	A	1次評価のとおり。			
		2次	A	1次評価のとおり。			
278	名寄市開業医誘 致助成事業	1次	A	平成29年末の条例施行のため、実質1年間程度の事業実施期間であり、成果が出ていない状況ではあるが、地域医療体制の充実・強化のために必要な事業である。			
		WG	B	1次評価にあるように、実施方法の他市町村との差別化をはかり、情報発信方法の見直しが必要。			
		外部	B	誘致に向けた更なる取組を期待したい。			
		2次	B	開業医の誘致に向け、効果的で広範な情報発信に努めるとともに、関係機関等からの情報収集を行い、誘致につなげていくことが必要です。			

基本目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価区分	評価	
Ⅱ 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり	子育て支援の推進	子育て支援施策の充実	044	乳幼児紙おむつ用ごみ袋支給事業	1次	A	少子化、人口減少社会において、地域における人口減少対策は喫緊の課題となっています。その対策のひとつとして、子育てにかかる保護者の負担軽減を行うことは、出産、育児に対する不安の解消につながり、出生数の増加、人口減少対策、将来における地方自治体の活力へとつながるものであり、地方創生に合致する。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
			045	乳幼児等医療給付事業	1次	C	乳幼児等に対する医療費の助成は、少子化対策として全国的に助成範囲の拡大が進められている。本市においても乳幼児等の健やかな成長を確保するため、平成26年8月診療分から全額助成を行うことで、子育てに対する負担軽減を図っており今後も継続して取り組んでいく必要があります。
					WG	C	1次評価のとおり。
					外部	C	子育て環境の充実、住みよさ向上につながることから、小学生までの全額助成等、拡大することを検討してほしい。
			046	地域子育て支援拠点事業	1次	B	開設以降、多くの親子の利用があるが、昼休み時の開所や、休日の開所が求められてきている。
					WG	B	1次評価のとおり。
					外部	B	1次評価のとおり。
			047	ファミリー・サポート・センター事業	1次	B	当初、預かり場所は提供会員宅のみとなっていましたが、「ここほっと」「ひまわりらんど」での預かりも可能とするなど提供場所の拡大等、利用者ニーズに合わせた改善を随時実施している。
					WG	B	1次評価のとおり。
					外部	B	1次評価のとおり。
			049	ひとり親家庭等医療給付事業	1次	A	ひとり親家庭等の保健の向上と福祉の増進を図るため。
					WG	A	1次評価のとおり。
	外部	A			1次評価のとおり。		
	279	名寄市待機児童解消緊急対策事業	1次	C	令和元年度から名寄市立大学の社会保育学科の卒業生が輩出されることから、事業の見直しを行う。		
			WG	C	1次評価のとおり。		
			外部	C	子育て環境の充実人口減少対策として重要であり、事業の継続や拡充をするなど更なる充実を期待したい。		
	280	認可保育施設等への移行支援事業	1次	D	事業完了による。		
			WG	D	1次評価のとおり。		
			外部	D	1次評価のとおり。		
	281	子育て支援活動助成事業	1次	A	市民相互協力による子育て支援活動が実施されてきており、引き続き事業実施することで、定着化をはかることが出来る。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
			外部	A	1次評価のとおり。		
	地域福祉の推進	地域福祉活動の普及・推進	053	町内会ネットワーク事業	1次	A	地域におけるネットワークづくりに貢献していると判断できる。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	継続した取組をしていただきたい。できていない町内会への対応を市も協力して社会福祉協議会とともに推進してほしい。
					2次	A	事業を継続しながら、実施していない町内会への対応を市と社会福祉協議会が連携して推進していくことが必要です。
福祉関係団体との連携強化		055	社会福祉協議会運営事業費補助金	1次	A	法改正に伴う社会福祉充実財産残額の解消については、地域福祉の推進に寄与することを目的とした計画を策定し、10年間で解消することになっている。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
		056	総合福祉センター整備事業	1次	A	福祉拠点としての役割は重大であり、引き続き利用促進に向けた修繕等の実施が必要である。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
2次		A	1次評価のとおり。				

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業					
			番号	事務事業名	評価 区分	評価		
Ⅱ市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり	地域福祉の推進	生活に困っている人への包括的支援の充実	057	生活困窮者自立支援事業	1次	A	生活困窮者自立支援法の施行により、低所得世帯や生活困窮世帯の支援は国を挙げて取り組んでおり、名寄市も同様である。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
			058	低所得者の冬の生活支援事業（福祉灯油支援事業・冬の生活支援事業）	1次	A	原油価格、電気料金の変動に注視することに加え、各種福祉サービスとの公平性・整合性の観点から見直しをおこなっている。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
	外部	A			1次評価のとおり。			
	2次	A			1次評価のとおり。			
	高齢者施策の推進	介護保険サービスの推進	063	介護人材確保緊急対策事業	1次	A	介護職員不足解消に一定の効果があり、事業開始前と比較し、職員数は増加したことから、内容を充実し、継続すべき事業と考える。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
			064	介護サービス提供基盤等整備事業	1次	A	第7期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画に基づく事業であり、介護サービスのニーズや関係機関からの要望に基づいた事業であり、継続することが必要。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
			065	特別養護老人ホームしらかばハイツ施設整備事業	1次	A	施設利用者に対するサービス提供を低下させないよう、安全・安心な生活環境を求め随時施設の改修を進めている。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
		066	清峰園等施設設備等更新事業	1次	A	施設利用者に対するサービス提供を低下させないよう、安全・安心な生活環境を求め随時施設の改修を進めている。		
				WG	A	1次評価のとおり。		
				外部	A	1次評価のとおり。		
				2次	A	1次評価のとおり。		
		高齢者福祉の推進	高齢者福祉の推進	067	除雪サービス事業	1次	A	除雪が困難で福祉的支援が必要な高齢者世帯等が安心して暮らし続けることができるための施策として必要な事業であるため。屋根おろし費用助成については、H30年度から雪おろしで堆積した雪の除去も対象とし、負担軽減を図った。
						WG	A	1次評価のとおり。
	外部					A	除雪ができなく、転出してしまうケースも多くあることから、助成以外にも更なる検討が必要である。また、ひとり親家庭などの生活弱者も対象となるような制度拡大を検討してはどうか。	
2次	A					冬の生活を安心して暮らすためにも事業の継続は必要である。今後においても、市民の生活やニーズの把握に努め、事業の改善を行いながら進めていくことが必要です。		
1次	A					高齢者の権利擁護の観点から必要な事業であり、特に、認知症高齢者の増加が見込まれることから継続すべき事業である。		
WG	A					1次評価のとおり。		
282	成年後見センター運営事業	外部	A	1次評価のとおり。				
		2次	A	1次評価のとおり。				
		071	理解促進研修・啓発事業	1次	A	障がいに関するいろいろなテーマの研修会を、平成26年度から、毎年開催することにより、市民が障がいのことに触れる機会が少しずつ増えてきている状況なので、今後も継続し、理解啓発を行なっていくとよいと思われる。		
				WG	A	1次評価のとおり。		
外部	A			1次評価のとおり。				
2次	A			1次評価のとおり。				
072	成年後見制度利用支援事業	1次	A	希望する障がい者の方が、成年後見制度を利用することができている状況がある。今後も事業を継続していくことがよいと思われる。				
		WG	A	1次評価のとおり。				
		外部	A	1次評価のとおり。				
		2次	A	1次評価のとおり。				
障がい者福祉の推進	障がい者理解の促進・権利擁護	071	理解促進研修・啓発事業	1次	A	障がいに関するいろいろなテーマの研修会を、平成26年度から、毎年開催することにより、市民が障がいのことに触れる機会が少しずつ増えてきている状況なので、今後も継続し、理解啓発を行なっていくとよいと思われる。		
				WG	A	1次評価のとおり。		
				外部	A	1次評価のとおり。		
				2次	A	1次評価のとおり。		
072	成年後見制度利用支援事業	1次	A	希望する障がい者の方が、成年後見制度を利用することができている状況がある。今後も事業を継続していくことがよいと思われる。				
		WG	A	1次評価のとおり。				
		外部	A	1次評価のとおり。				
		2次	A	1次評価のとおり。				

基本目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業								
			番号	事務事業名	評価区分	評価					
Ⅱ 市民みんなが安心して健やかに暮らせるまちづくり	障がい者福祉の推進	地域生活支援体制の充実	073	グループホームの設置促進	1次	A	希望する障がい者の方が、比較的早くグループホームの利用をすることができている状況がある。今後も事業を継続していくことがよいと思われる。				
					WG	A	1次評価のとおり。				
					外部	A	1次評価のとおり。				
					2次	A	1次評価のとおり。				
		076	地域生活支援事業	1次	A	障がい児・者が自立した生活ができるよう、地域の状況や利用者の実態に応じた事業を効果的に実施することができている。今後も事業を継続していくことがよいと思われる。					
				WG	A	1次評価のとおり。					
	外部			A	1次評価のとおり。						
	081	自発的活動支援事業	1次	A	活動する団体等の要望を受けて実施することができている。今後も事業を継続していくことがよいと思われる。						
			WG	A	1次評価のとおり。						
			外部	A	1次評価のとおり。						
			2次	A	1次評価のとおり。						
	国民健康保険	国民健康保険	083	糖尿病重症化予防	1次	A	糖尿病重症化予防については、保険者努力支援の中で国から指標、目標値が示されており、達成することで調整交付金に反映され加入者の負担軽減に繋がる。				
WG					A	1次評価のとおり。					
外部					A	1次評価のとおり。					
2次					A	1次評価のとおり。					
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり					環境との共生	環境の保全	085	温暖化対策啓発事業・公害対策事業	1次	B	今後は、監視業務のみならず、SDGsやCO2排出抑制などに対する国の動向も踏まえ、市として啓蒙活動や総合的な施策の展開など拡充も検討が必要と考える。
									WG	C	1次評価のとおり。
	外部	B	国と重複する検査を省くなど、水質検査方策の見直し検討を行うこと。費用対効果が見えるように調書を整理してほしい。								
	2次	B	国、道と重複している水質検査の見直しを行い、調書の作成についても整理していく。								
	良好な環境づくり	086	霊園・墓地管理運営事業	1次		A	引き続き、良好な環境と安らぎを感じる環境の整備を進めつつ、となみが丘霊園の法面整備や合同墓についての検討を進める。				
				WG		B	1次評価にあるように、合同墓の設置などへの市民ニーズの調査が必要。				
外部				B		合同墓を検討していただきたい。					
2次				B		となみが丘霊園の法面改修工事を進めるとともに、合同墓の建立について検討していく。					
新エネルギーの導入・省エネルギーの推進	088	公共施設への新エネルギー・省エネルギー設備の導入の検討	1次	A		公共施設設置における基本設計において、省エネルギー及び新エネルギーの導入について検討しており、特に省エネルギーに資する施設整備が進められている。					
			WG	A		1次評価のとおり。					
			外部	A		1次評価のとおり。					
			2次	A		1次評価のとおり。					
089	エネルギーに関する講習会等の開催による普及啓発	1次	B	省エネ・新エネに関する普及啓発活動を行うことは環境への負荷の軽減につながることであるため、継続は必要であると考えられるが、より広く市民への周知を行うため進め方を改善する。							
		WG	D	委託先等含め、抜本的に事業を見直してみてもどうか？							
		外部	C	事業の目的は重要。規模や内容を見直すなどして事業を継続してほしい。							
		2次	C	事業の継続は必要である。幅広く市民に知って頂くように普及啓蒙活動に取組んでいく。							

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業						
			番号	事務事業名	評価 区分	評価			
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	循環型社会の形成	廃棄物の適正処理	091	炭化センター・衛生センター・最終処分場維持管理費負担事業	1次	A	し尿、炭化ごみ、埋立ごみを処理するために継続が必要であり、引き続き次期処理施設の整備に向けた検討が必要である。		
					WG	A	1次評価のとおり。		
					外部	A	1次評価のとおり。		
			2次	A	1次評価のとおり。				
			092	塵芥収集車両等整備事業	1次	D	事業終了に伴い廃止となる。		
					WG	D	1次評価のとおり。		
		外部			D	1次評価のとおり。			
		2次	D	1次評価のとおり。					
		環境美化の推進	095	不法投棄・野焼き防止啓発事業	1次	A	ごみニュースの発行、のぼりの設置などは、取り組みをはじめたばかりであり、当面は継続していく。		
	WG				A	1次評価のとおり。			
	外部				A	1次評価のとおり。			
	2次	A	1次評価のとおり。						
	消防	消防施設及び消防装備の整備	096	高機能消防指令センター設備更新	1次	A	消防指令センターのシステムの更新については、今回は情報系の機器のみであり、今後はシステム全体の更新計画もあり、それまでシステム機能を安定して運用していける。		
					WG	A	1次評価のとおり。		
					外部	A	1次評価のとおり。		
					2次	A	1次評価のとおり。		
		防火対策の推進	097	住宅防火対策・広報推進事業	1次	A	防火訪問を行うことで有効な成果が得られている。在宅・不在に関わらず住警器設置推進のリーフレットを配布する等、設置推進に係るPRを継続した結果であると考えられる。しかしながら、設置が十分に進んでいない地区もあり、防火訪問は継続していく必要がある。また、共働き世帯の増加等により、防火訪問時不在の家庭が多いことから、今後も町内会回覧用リーフレットの作成、広報誌への掲載等、様々な媒体を最大限活用していく。		
							WG	A	1次評価のとおり。継続して事業を進めていく。
							外部	A	1次評価のとおり。
							2次	A	1次評価のとおり。
							WG	A	1次評価のとおり。
	防災対策の充実	国土保全の推進	098	河川愛護事業	1次	A	高齢化に伴い作業の担い手が減少傾向にあることが課題である。		
					WG	A	1次評価のとおり。		
					外部	A	1次評価のとおり。		
2次					A	1次評価のとおり。			
100			河川整備・改修・維持事業	1次	A	毎年度、修繕の必要性のある河川を選定し、市民からの要望等に応えている。			
				WG	A	1次評価のとおり。			
外部		A	1次評価のとおり。						
2次		A	1次評価のとおり。						
災害応急対策の充実		101	情報伝達手段の充実、防災行政無線のデジタル化等(R5まで)	1次	D	情報伝達手段の手法等について、名寄市のリスクの高い災害に対応できるような手法が求められており、伝達手段も多様化してきているため、どのような方法がより効果的となるのかなど、改めて検討する必要がある。			
				WG	D	早急な対応が必要である。また、方向性の検討が必要。			
				外部	D	1次評価のとおり。			
		2次	D	1次評価のとおり。					
	105	防災マップ配布事業	1次	A	事業が完了したため、目標達成となる。新たな浸水想定などが公表されなければ、ハザードマップの作成を行う予定はない。				
			WG	A	1次評価のとおり。				
外部			A	1次評価のとおり。					
2次	A	1次評価のとおり。							
106	地域防災力向上事業	1次	A	着実に地域の防災力は向上していると考えられるが、まだまだ組織率が低いことから、継続した取組が必要。自主防災組織の設立については、あくまでの自主的なものとなるため、急激な増加は難しいが、時間をかけて理解を深めていただけるよう取り組むことが必要。					
				WG	B	目標設定の改善が必要。			
				外部	A	1次評価のとおり。			
				2次	A	1次評価のとおり。			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	交通安全	道路交通環境の整備	110	交通安全施設整備の実施	1次	A	市道の白線補修・改修、警戒標識の設置は、市民の安全な交通環境の保全に重要な施策である。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
		冬季の交通安全の確保	111	冬期間の安全運転教育の実施	1次	A	冬期間の交通事故減少に向けて市民の意識高揚を図り、交通事故誘発要因の減少を図るため、夜光反射材の配布、街頭啓発やバトライト啓発など、交通事故防止に向け継続的な啓発が必要。
					WG	A	1次評価のとおり。
	外部				A	1次評価のとおり。	
	2次				A	1次評価のとおり。	
	生活安全	関係機関・団体との連携強化と対策	114	幼児から高齢者までの安全確保	1次	A	犯罪のない安全安心な地域づくりのために、地域や関係機関と連携し情報の共有化と密着した対策強化を図ると共に、市民の防犯意識の高揚を図ることが必要。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
		空家等対策	115	空家等対策計画推進事業	1次	A	管理不全の空家を地域から減少させる取組みは、安全安心な地域づくりであり、一定程度市の役割である。ただし、私有財産である空家の処分はあくまでも個人の責任であるため、市民全体への適正管理の周知啓発、また適正管理されていない空家所有者等への個別のお願いを引き続き進めていく。
					WG	A	1次評価のとおり。
	外部				A	1次評価のとおり。	
	2次				A	1次評価のとおり。	
	消費生活の安定	消費者利益の擁護	116	情報提供事業	1次	A	現状のままの実施が望ましい。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
		消費者啓発の推進	119	消費者活動団体支援事業	1次	A	消費生活の安定と向上を図り、消費者の利益を保護するためには行政と消費者団体がそれぞれの立場から活動を展開していくことで相乗効果を発揮できるものであり、継続して実施していくことが必要。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
物価の動向調査		120	物価動向等調査事業	1次	A	生活関連物資の表示及び量目が適正に図られ、消費者保護の観点から有効な手段であり、引き続き実施していく。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
住宅の整備	公営住宅の適正管理	123	公営住宅長寿命化等事業	1次	A	名寄市公営住宅等長寿命化計画等に基づき適正に公営住宅の長寿命化を進めている。今後も社会情勢の変化や住宅困窮者のニーズを把握しながら公営住宅の長寿命化を進める必要がある。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
		124	公営住宅維持管理事業	1次	A	人口減少、少子高齢化など社会情勢の変化に伴い住宅困窮者の多様なニーズが増えてきている。状況を把握しつつ今後も住宅関連計画に基づき適正に維持管理を進める必要がある。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
	民間住宅の整備促進	125	既存住宅耐震改修促進事業	1次	B	耐震化の促進施策の1つとして、市民の耐震化に要する費用の一部を補助する事業は、国・道・市が一体となって取り組む、必要不可欠な事業であり、継続して取り組むべき事業と考える。ただし、耐震化がなかなか進まない現状から、国や道が補助額の引き上げを行っていることから、市においても、補助制度の改正に取り組む必要がある。	
				WG	B	1次評価のとおり。	
外部				B	1次評価のとおり。		
2次				B	1次評価のとおり。		

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業					
			番号	事務事業名	評価 区分	評価		
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	都市環境の整備	都市計画制度の推進と適正な管理	126	都市計画マスタープラン見直し・立地適正化計画策定委託業務	1次	A	2か年の見直し・策定作業のうち、1か年目の現況整理・まちづくりの課題分析(各種データの分析)、住民意向の把握(市民アンケート、ワークショップ)、市民策定委員会、庁内検討委員会の開催、都市機能誘導区域・居住誘導区域に関する方針の検討を適切に実施してきたため。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
						2次	A	1次評価のとおり。
		美しい市街地の形成	128	街灯の維持管理	1次	A	防犯効果と事故を防止するため、街灯の維持管理は継続する。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
		公園の管理・整備事業	130	公園長寿命化事業	1次	A	都市公園の老朽化が進行しているため現状のまま継続するのが望ましい。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
	上水道の整備	安定供給の確保	134	配水管網整備事業（給水区域内の配水管新設整備）	1次	A	水道未普及地域の解消のため継続して事業実施が必要。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
		老朽管更新事業	135	老朽管更新事業	1次	A	水道利用者へ水道水の安定供給のために今後も事業継続が必要。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
					2次	A	1次評価のとおり。	
		水質の保全維持	138	水質検査機器更新事業	1次	B	計画的に検査機器を更新することで信頼のおける検査体制を維持できるが、機器購入費が高額であるため、継続して機器を計画的に更新することについては今後検討が必要となる。	
	WG				B	1次評価のとおり。		
	外部				B	1次評価のとおり。		
				2次	B	1次評価のとおり。		
	下水道・個別排水の整備	合併浄化槽の設置	143	個別排水処理施設整備事業	1次	A	妥当性、効率性ともに適正であり目標値も達成しているため、今後も現状どおり執行することが望ましい。	
					WG	B	公共下水道使用料も含めて、適正な使用料の検討が必要であると考え。	
					外部	B	適正な使用料の検討をお願いしたい。	
2次					B	公共下水道と個別排水で料金に乖離が生じないよう市の政策として同様の料金設定としているが、令和2年度からの公営企業会計への移行に伴い、より経営状況の把握が可能となることから、公平で適正な使用料について検証を進めたい。		
道路の整備	幹線道路の整備	144・145	郊外幹線道路の整備・都市計画道路の整備	1次	A	国の方針により進捗状況は左右されるが、市民要望にこたえるため事業完了に向け継続することが必要である。		
				WG	A	1次評価のとおり。		
				外部	A	1次評価のとおり。		
				2次	A	1次評価のとおり。		
	生活道路の整備	148	市道排水整備	1次	A	道路の冠水や民家の浸水等の災害対策としても必要な事業である。		
				WG	A	1次評価のとおり。		
				外部	A	1次評価のとおり。		
			2次	A	1次評価のとおり。			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
Ⅲ 自然と調和した環境にやさしく快適で安全安心なまちづくり	道路の整備	市道の維持事業	153	市道舗装補修事業	1次	A	舗装の凹凸や段差の解消し、安全安心な道路空間確保のために必要である。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			154	除排雪のあり方	1次	A	合理的な除排雪事業の推進、除排雪水準の向上を目的に継続していく。
					WG	B	意見交換会を除排雪シーズンの前後に1回ずつ（7月と3月など）行うことで、より市民ニーズに適合した除排雪を行えるのではないかと。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			155	市道除雪事業	1次	A	安心安全な生活環境を確保するために継続は必須である。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			156	市道排雪事業	1次	A	安心安全な生活環境を確保するために継続は必須である。
					WG	A	1次評価のとおり。
	外部	A			1次評価のとおり。		
	2次	A			1次評価のとおり。		
	157	道路除排雪事業（排雪ダンプ助成・市道及び私道除排雪助成・風連市街地区国道及び道道排雪助成）	1次	A	住宅まわりなどの身近な除排雪に対し、市民との協働で総合的な除排雪体制を確立するため継続する。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
			外部	A	1次評価のとおり。		
			2次	A	1次評価のとおり。		
159	除雪機械購入事業	1次	A	除排雪については市民要望が多く、冬期間の安全確保のための除雪機械の整備は必要であるため今後も継続する。			
		WG	A	1次評価のとおり。			
		外部	A	1次評価のとおり。			
		2次	A	1次評価のとおり。			
地域公共交通	宗谷本線の維持活動の促進	161	宗谷本線維持存続に向けた取組の推進	1次	A	宗谷本線の完全高速化および維持存続に向けた活動を推進する上で、宗谷本線活性化推進協議会を軸とした活動を継続して展開する必要があると考える。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
	公共交通の整備・確保と利用促進	163	バス路線の維持・確保	1次	D	バス利用者の減少と人件費の上昇などから毎年自治体負担の増加に歯止めがきかない状況にあるため。	
				WG	D	1次評価のとおり。事業について要検討。	
			外部	C	利用者にとって切実な問題であり、必要な路線を維持・確保しつつ、重複路線等の必要な見直しを行ってほしい。		
			2次	C	増加傾向にある自治体負担を抑えるためにもバス利用の現状を踏まえて重複路線等の見直しを検討。		

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
IV 地域 の特性を 活かした にぎわい と活力の あるまち づくり	農業・農村の 振興	収益性の高い農業 経営の確立	167	道営水利施設整 備事業	1次	A	道営事業として目的達成のために取り組んでいるので、現状の まま継続する。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			168-1	道営農地整備事 業 (風連地区)	1次	A	道営事業として目的達成のために取り組んでいるので、現状の まま継続する。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			168-2	道営農地整備事 業 (ちえぶん地区)	1次	A	道営事業として目的達成のために取り組んでいるので、現状の まま継続する。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
		170	土壌改良指導事 業	1次	A	土壌状態を把握し適切な肥培管理に取り組む事は、農作物の生 産に重要なことから、今後も事業を継続し農業者の相談・指導 にあたっていく必要がある。	
				WG	B	事業の必要性については理解するところであるので、農業者が より利用しやすい体制作りを検討してほしい。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
		172	ブランド化の推 進と販売拡大事 業	1次	A	生産量日本一を誇るもち米の里として今後も事業を継続し、 「名寄」の知名度がさらに向上することで、アスパラやスイ ートコーン、南瓜等の名寄産農産物が認知され消費拡大やブラン ド化につながる。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
		173	高付加価値化と 6次化の推進	1次	A	労働力の不足等により農業者による加工は増加傾向にないが、 商工業者による名寄産農畜産物を活用した商品開発は増加して いる。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
多様で持続可能な 農業経営の促進	174	労働力確保対策 事業	1次	A	今後も農家戸数の減少や高齢化による労働力不足が見込まれて おり、雇用労働力をはじめ多様な労働力の確保が重要なことか ら、事業を継続し安定的な農業生産を推進していく必要がある。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
			外部	A	1次評価のとおり。		
			2次	A	1次評価のとおり。		
	175	農業振興資金融 資事業	1次	B	経営改善に必要な資金調達を支援することで、円滑な経営が達 成されている。今後は融資の基準や限度額などについて、利用 者のニーズに合うよう見直しをしていく必要はある。		
			WG	B	1次評価のとおり。		
			外部	B	JA道北なよろと協議し、より使いやすい制度となるようにして ほしい。		
			2次	B	農業経営におけるセーフティネットとして必要な制度であ り、利用者のニーズを踏まえ制度の検証に取組むこと。		

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
IV 地域 の特性を 活かした にぎわいと 活力のある まちづくり	農業・農村の振興	農業担い手の育成と確保	176	農業後継者対策事業	1次	A	農業後継者の出逢いの場を提供することで、農業後継者との交流、交際のきっかけづくりを設定し成婚を目的としており、婚活事業で17組が成婚しており、近年は毎年成婚していることから現状のまま継続との評価をした。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			179	農村女性活動支援事業	1次	B	農業経営に関わる女性農業者の技術・知識の習得のほか、活動の場を広げる機会を作る事業として活用できるよう、活用事例等紹介しながら周知し事業活用を推進する。
					WG	B	1次評価のとおり。
		外部			B	1次評価のとおり。	
				2次	B	1次評価のとおり。	
		人と自然にやさしい農業の推進	180	有害鳥獣駆除対策事業	1次	A	今後も有害鳥獣の捕獲による駆除に取り組む事で、農産物の被害を防ぐことが必要である。
	WG				A	1次評価のとおり。	
	外部				A	1次評価のとおり。	
			2次	A	1次評価のとおり。		
	森林保全と林業の振興	民有林の施策促進	185	森林整備地域活動支援交付金	1次	D	国の制度改正により、原則として平成30年度から実施できなくなった。現在の制度内容が変わらない場合、採択要件に合致するのは令和4年度であり、事業主体となる森林組合が事業に取り組む意向がある場合は、実施に向けて検討する。
					WG	D	1次評価のとおり。
					外部	D	1次評価のとおり。
				2次	D	1次評価のとおり。	
		市有林の整備促進	186	市有林造林事業	1次	A	市有財産の適切な管理及び国土保全を目的とし、森林経営計画に基づく適正な間伐や保育間伐（切捨）、下刈等を実施する。また、補助金額の増減に関わらず、予定している事業については確実に実施する必要がある。
					WG	A	1次評価のとおり。
	外部				A	1次評価のとおり。	
			2次	A	1次評価のとおり。		
	商業の振興	商業の活性化	187 ・188 ・190 ・191 ・192 ・193 ・195	中心市街地近代化事業 ・商店街等活性化事業 ・中小企業振興条例に基づく各事業 ・情報化促進と情報提供 ・商業指導育成対策事業 ・商工振興事業 ・創業支援事業 ・物産振興事業（中小企業振興条例）	1次	A	賑わいがある魅力的な商店街づくりや事業者の経営基盤の強化、地域商業の発展に向けた取組として、現状の支援は必要である。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
							2次
189			住宅改修等推進事業補助金	1次	A	市民の住宅改修ニーズに応えるとともに、地域経済の活性化、中小企業の人材育成や雇用の安定につながるよう、雪対策外構工事を対象とし、移住や空き家の有効活用を促進するなど、令和元年度から事業内容を拡充して実施する。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
						2次	A
金融の円滑化		194	中小企業経営等融資事業・特別融資利子・保証料補給事業	1次	A	中小企業の事業運営の基礎となる資金需要の円滑化を図る上での、融資のあっせんは重要な位置を占めており、今後においても、新たな地域産業の構築・経営基盤の強化に向けて重要である。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
			2次	A	1次評価のとおり。		
商業経営基盤の強化	285	事業承継事業	1次	A	市内事業所数の減少・事業承継は喫緊の課題であり、継続して事業を推進する必要がある。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
			外部	A	1次評価のとおり。		
					2次	A	1次評価のとおり。

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
IV 地域 の特性を 活かした にぎわいと 活力のある まちづくり	工業の振興	技術開発の支援	196 ・200 ・201	既存企業の育成強化 ・各種助成制度の拡充 ・新商品開発推進 ・異業種交流の推進 (中小企業振興条例)	1次	A	人口減少等により商圏が縮小傾向にある中、積極的な事業展開を計画する中小企業を支援することは地域経済の活性化につながり、現状の支援は必要である。
					WG	B	中小企業のニーズに合った事業内容の検討や周知方法を工夫してほしい。
					外部	B	ワーキンググループ評価のとおり。
				2次	B	外部評価のとおり。	
		企業立地の推進	197 ・198 ・199 ・202	情報化の促進 ・起業の促進 ・企業立地の推進 ・産業集積の促進 (企業立地促進条例)	1次	A	企業立地促進条例に基づく支援は、中小企業振興条例に基づく支援に比べ、多くはないものの、一定程度の利用実績がある。企業立地促進法の一部改正により地域未来投資促進法が成立・施行されたことから、企業の掘り起こし、企業訪問等の強化が必要と考えるが、事業は本市発展に寄与。
					WG	A	1次評価のとおり。
	外部				A	1次評価のとおり。	
			2次	A	1次評価のとおり。		
	雇用の安定	福利厚生 の充実	204 ・205	退職金制度普及及び促進事業 ・事業所内福祉施設支援事業 (中小企業振興条例)	1次	A	労働者の処遇改善、安心して働ける労働環境を構築するため、労働者の福祉施策の充実は不可欠である。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			206	中小企業勤労者福祉推進事業	1次	B	今後、消費増税による負担増や金融政策による金利上昇などに対応する必要があり、勤労者セーフティネットとして継続することが望ましい。
					WG	A	1次評価のとおり。
			外部	B	1次評価のとおり。		
			2次	B	1次評価のとおり。		
	観光の振興	観光資源の活用・ 充実と開発整備	208	なよろ健康の森管理事業	1次	B	農林業予算で施設が整備されたため耕地林務課の所管となっているが、スポーツ施設が併設されているほか、観光施設でもあり、関係する部局が複数にまたがっているため、スポーツ合宿拠点化事業の推進と合わせ、所管見直しなどの検討が必要。
					WG	B	1次評価のとおり。
					外部	B	市民の憩いの場として役割を十分に果たしているが、利用者が減少しているのでPR等の進め方に工夫が必要かもしれない。
					2次	B	外部評価を参考とし、スポーツ合宿拠点化を中心に交流人口の拡大に努めること。
		観光開発	209	道の駅管理事業	1次	A	指定管理者により、地場製品の販売や飲食の提供、イベントの企画・実施、交通・観光情報の提供などを行い、全道的にも人気の高い道の駅として、交流人口拡大に寄与している。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			210	望湖台自然公園整備	1次	C	望湖台センターハウスの閉鎖、取り壊し以降、利用人数は減少傾向にあるため、費用対効果を見極め野草園や管理区域の規模など見直しが必要。
					WG	D	熊も出没するなど安全面も含めて利用者のニーズに 대응していくことが難しいこと、また、維持管理費も高額となっているから、廃止も選択肢のひとつとして検討していくことが必要であると考え。
		外部			C	費用対効果を含めて、地域と十分に協議して今後の方向性を検討。オートキャンプ場の需要はあるが、設備を整える必要がある。公園を維持する場合は利用者増、収入増につながる活用方法を検討しなければならない。	
				2次	C	外部評価のとおり。	
		観光事業の充実	211 ・212 ・217	観光事業推進団体支援事業・地域特性イベント実施事業・観光振興事業	1次	A	名寄市観光振興計画を基に観光事業推進団体と連携して、地域イベント実施による市民満足度向上に加え、広域観光の推進による観光入込客数及び訪日外国人の増加に寄与している。
					WG	A	1次評価のとおり。
外部					A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
213 ・214			スキー場事業 (庄雪車・リフト修繕)	1次	A	雪質日本一のスキー場として、市民や訪日外国人を含めた市外から多くの方に利用いただいている。安心・安全に利用いただけるよう、各種整備を行っている。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
	外部	A		1次評価のとおり。			
		2次	A	1次評価のとおり。			
観光誘致宣伝	215 ・284	道北観光連盟事業の推進 ・広域観光事業	1次	A	各地域の資源を繋ぐことにより、魅力を増す観光となる。各観光組織が役割を担い事業を推進している。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
			外部	A	1次評価のとおり。		
			2次	A	1次評価のとおり。		
	216	なよろ温泉整備事業	1次	A	市民の福利厚生、健康増進、冬季スポーツの振興などに寄与している。利用促進へ向けた日進ビヤリシ線バス無料化も実施。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
外部			A	1次評価のとおり。			
		2次	A	1次評価のとおり。			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業					
			番号	事務事業名	評価 区分	評価		
V 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり	小中学校教育の 充実	「生きる力」を育 てる教育の推進	220	教育改善プロ ジェクト委員会 推進事業	1次	A	授業改善と望ましい生活のリズムの定着を「車の両輪」と位置 付け、名寄市教育改善プロジェクト委員会を中心として市内の 小・中学校が一体となった学力向上の取組を進めてきた成果 が、実績として現れてきているため。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
						2次	A	1次評価のとおり。
			221	栄養教諭の配置	1次	A	基準どおり2名の栄養教諭が配置されており、食育や給食セン ターでの業務も順調に経過していることから、A評価とする が、改善点の項目の記載どおりNo.223「望ましい食習慣などを 身につけることができる食育の推進」と統合し継続する。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
					外部	A	1次評価のとおり。	
						2次	A	1次評価のとおり。
			222	学校給食におけ る地場産食材の 活用	1次	A	地場産使用率は毎年、若干の変化はあるが目標値を超えて推移 していることから事業の手法等、現状のまま継続が望ましい。	
					WG	A	事業番号221と関連付けて事業を実施してはどうか？	
					外部	A	1次評価のとおり。	
						2次	A	1次評価のとおり。
			223	望ましい食習慣 などを身につけ ることができる 食育の推進	1次	A	A評価とするが、改善点の項目でも述べたように、No.221「栄 養教諭の配置」と統合し継続する。	
					WG	A	1次評価のとおり。	
	外部	A			1次評価のとおり。			
				2次	A	1次評価のとおり。		
	225	心の教室相談員 配置事業	1次	B	近年小学生の不登校事案もあり、その兄妹が中学校で不登校状 態や家庭内で課題がある等、相談員が小学校の教諭と情報交換 や面談をするなど、問題解決に向けた体制整備が必要。			
			WG	B	1次評価のとおり。アウトカムの提示。			
			外部	B	1次評価のとおり。			
				2次	B	1次評価のとおり。		
	226	小中学校情報機 器整備事業	1次	A	情報機器は年々高性能化進んでおり、更に、耐用年数やPCを活 用するための基本OSもサポート期限が定められている等、定期 的な情報機器の更新が必要となる事から継続して取り組む必要 がある。			
			WG	A	1次評価のとおり。アウトカムの提示。事業実施におけるアン ケート等を行ってはどうか？			
			外部	A	1次評価のとおり。			
				2次	A	1次評価のとおり。		
229	教職員への研修 の充実	1次	A	教職員の資質能力を高めるとともに、外国語教育の教科化、プ ログラミング教育の必修化、ICTの活用などの新たな課題に対応 できる力量を高める研修機会の充実が図られているため。				
		WG	A	1次評価のとおり。アウトカムの提示。				
		外部	A	1次評価のとおり。				
			2次	A	1次評価のとおり。			
安全安心な教育環 境の整備	230	地域110番の 家の配置・不審 者対策	1次	A	今後も、学校における安全教育を推進するとともに、安全安心 会議による見守りや、通学路安全推進会議を継続的に開催し関 係機関と連携し防犯、交通安全を推進する必要がある。			
			WG	A	アウトカムの提示及び地域110番の家配置について記載。ま た、他の事業との統合は可能か？			
			外部	A	1次評価のとおり。			
				2次	A	1次評価のとおり。		
	233	市内小中学校改 築事業	1次	A	市内にはまだ耐震化が完了していない学校があることから、今 後も小中学校改築事業は継続して取り組む必要がある。 未耐震学校施設：名寄中学校、名寄東中学校、智恵文小学校			
			WG	A	1次評価のとおり。			
外部			A	1次評価のとおり。				
			2次	A	1次評価のとおり。			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
V 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり	高等学校教育の 充実	就学機会の確保	235	名寄市高校生資格取得支援事業	1次	A	利用者数が増えてきており有効な制度である。対象となる資格種類等について高等学校と連携し検討していく。
					WG	A	間口維持に向けて要検討。事業の精査。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			286	名寄産業高等学校入試受検者交通費等支援事業	1次	A	間口確保には、道外からの入学希望者も積極的に受け入れる必要があることから本制度を現状のまま継続する必要がある。
					WG	B	間口確保のため、道内受験者も助成対象に入れてみてはどうか？
	外部	B			間口拡大のため、さらなる方策の検討を。		
	2次	B			基幹産業である農業後継者の育成のため酪農科学科の維持に向け、道教委、名寄産業高等学校と連携し検討する。		
	大学教育の充実	校舎及び環境等整備事業	236	保健福祉学部新学科設置事業	1次	A	地域で慢性的に不足している専門職の定住化が期待される。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			237	大学改修事業	1次	A	優先順位をつけながら適宜、必要な改善を進めている。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			238	校舎バリアフリー化推進事業	1次	A	適宜、必要な改善を進めていく。
					WG	A	1次評価のとおり。計画的に進めていく。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
		239	情報及び実習環境整備事業	1次	A	適宜、必要な改善を進めていく。	
				WG	A	1次評価のとおり。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
240		コミュニティケア教育研究センター活動推進事業	1次	A	大学と地域の橋渡し拠点として、大学の人的・知的財産を多様に活用し、社会連携・社会貢献の取り組みを行っている。また、2018年度に受審した大学評価（認証評価）において、コミュニティケア教育研究センターの活動を中心とする「社会連携・社会貢献」分野は、4段階で最高の「S」評定を受けたことから、活動を継続する必要がある。		
			WG	A	1次評価のとおり。		
	外部		A	1次評価のとおり。			
	2次		A	1次評価のとおり。			
生涯学習社会の 形成	生涯学習プログラムの整備と学習への支援	244	社会教育施設間の連携と情報の共有	1次	A	今後とも社会教育施設間が相互協定できる体制づくりに努めるため、継続する。	
				WG	A	1次評価のとおり。アウトカムの提示。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
	天体観測を活かしたまちづくり事業	246	生涯学習フェスティバル事業	1次	A	平成30年度に体験型イベントを実施し、来場者を増やしたほか、市内のグループ、サークル等の成果発表の場や活動の場の開発のため。	
				WG	B	事業の必要性は感じるが、内容の精査が必要か。（若干のマンネリ化）	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
		248	生涯学習アドバイザーの設置	1次	A	生涯学習プログラムの整備と学習への支援を図る上で、生涯学習推進アドバイザーを設置することは、必要である。	
				WG	A	1次評価のとおり。アウトカムの提示。 風連地区のみ2人の理由は？	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	
251	開かれた研究観測事業	1次	A	平成22年度オープン以来、北海道大学、石垣島天文台、台湾の台北市天文科学教育館、また他の研究機関と協力しながら、成果を発表してきている。その成果を、より広く知ってもらうよう検討しながら、取組を継続していく。			
		WG	A	1次評価のとおり。アウトカム、アウトプットの見直し。			
		外部	A	1次評価のとおり。			
		2次	A	1次評価のとおり。			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業						
			番号	事務事業名	評価 区分	評価			
V 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり	生涯学習社会の 形成	生涯学習プログラ ムの整備と学習へ の支援	249	公民館分館事業	1次	A	人口減少等にも関わらず分館事業への参加者は、安定的に推移しており、分館は地域における生涯学習の拠点として重要な役割を担っていることから、今後とも市が支援していくことは必要である。		
					WG	A	1次評価のとおり。		
					外部	A	1次評価のとおり。		
							2次	A	1次評価のとおり。
			274	公民館市民講座	1次	A	今後も公民館事業として、市民ニーズ対応した講座を開設し、市民の学習意欲の向上を図るとともに、実生活の課題解決につながる学習機会を充実していかなければならない。		
					WG	A	1次評価のとおり。		
	外部	A			1次評価のとおり。				
					2次	A	1次評価のとおり。		
	家庭教育の推進	家庭と地域の教育 力の向上	252	家庭教育学級事 業	1次	B	家庭の教育力向上のためには、様々な事業を実施する必要があるが、交流や触れ合いの機会に重点が置かれ、勉強会等はほとんど行われていない。		
					WG	D	1次評価でも示されているが、より抜本的に事業見直しが必要では。		
					外部	B	1次評価のとおり。		
							2次	B	1次評価のとおり。
			253	家庭教育支援事 業	1次	A	家庭教育学級以外でも家庭の教育力向上の機会を設けるため、子育てに不安を抱える保護者等を対象とした支援講座の実施は、引き続き必要である。		
					WG	A	1次評価のとおり。予算の減が気になるが。		
	外部	A			1次評価のとおり。				
					2次	A	1次評価のとおり。		
	スポーツの振興	スポーツ施設の整 備	255	名寄ピヤシリ シャンツェ整備 事業	1次	A	冬季スポーツ拠点化事業によるスポーツを通じた地方創生を目指す上で、本施設は必要不可欠となっている。ただし、老朽化が進行していることもあり、また、ミディウムヒルの活用状況も踏まえ、今後の修繕・整備の方向性・スケジュール及び活用の方向性は検討していく必要がある。		
					WG	A	1次評価のとおり。		
					外部	A	1次評価のとおり。		
							2次	A	1次評価のとおり。
			256	体育施設整備改 修事業	1次	A	市民皆スポーツ・市民の生涯スポーツの振興は、市民の健康増進・生きがいづくり・青少年教育を構築し、そのフィールドとなる体育施設の整備は必要不可欠である。ただし、全体的に老朽化が進行していることから、財政状況を鑑みながら適所配置・延命措置を目指した適正な整備・修繕が必要となる。		
					WG	A	1次評価のとおり。		
		外部			A	1次評価のとおり。			
						2次	A	1次評価のとおり。	
257		スポーツセン ター改修事業	1次	A	市民皆スポーツ・市民の生涯スポーツの振興は、市民の健康増進・生きがいづくり・青少年教育を構築し、そのステージとなる体育施設の整備は必要不可欠である。ただし、築44年と老朽化が進行していることから、財政状況を鑑みながら延命措置を目指した適正な整備・修繕が必要となる。				
			WG	A	1次評価のとおり。				
			外部	A	1次評価のとおり。				
					2次	A	1次評価のとおり。		
スポーツ振興事業	258	各種大会開催事 業	1次	A	スポーツによる地方創生を推進している本市としては、市民のスポーツ参加率を高める各種大会への支援や新たな大会誘致は、市民の健康増進・交流関係人口の拡大による経済の活性化等大きな効果を生み出している。				
			WG	B	改善点の見直し。（公平性の評価説明のとおり）				
			外部	A	1次評価のとおり。				
					2次	A	1次評価のとおり。		
	259	学校開放事業の 推進	1次	A	スポーツによる地方創生を推進している本市としては、既存学校体育施設を活用しコストを抑えた形での市民のスポーツ参加率を高める施策として有効な施策となっている。				
			WG	A	1次評価のとおり。				
外部			A	1次評価のとおり。					
				2次	A	1次評価のとおり。			

基本 目標	主要施策	基本事業（施策）	事務事業				
			番号	事務事業名	評価 区分	評価	
V 生きる力と豊かな文化を育むまちづくり	スポーツの振興	スポーツ振興事業	260	生涯スポーツ推進事業	1次	A	市民が生涯にわたってスポーツを親しむきっかけとなり、スポーツを通じた健康づくりの推進を図るために必要な事業となっている。また、スポーツを通じた人材育成を図るため、指導者の育成・確保も推進していく。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			261	総合型地域スポーツクラブ支援等事業	1次	B	風連スポーツクラブ「ボボ」については積極的な活動を行っているが、上川北部広域スポーツクラブについては組織の在り方を検討する必要がある。
					WG	B	1次評価のとおり。
	外部	B	1次評価のとおり。				
	2次	B	1次評価のとおり。				
	青少年の健全育成	子育て支援の推進	269	放課後児童クラブの充実	1次	A	地域に子育て支援の施設として必要であるため。
					WG	A	1次評価のとおり。
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	1次評価のとおり。
			270	放課後子ども教室の充実	1次	A	年35回の教室開催において、自学自習とテーマ学習により、児童生徒が自ら学ぶ意欲を高めたり学び方を身に付けたりしている様子が見られることから。
					WG	C	登録者減の要因の精査が必要では。他事業との連携は可能か？
					外部	A	1次評価のとおり。
					2次	A	放課後子ども教室の周知に努め、引き続き児童生徒が自ら学ぶ意欲を高め、学び方を身につける取組をしたい。
			271	児童館の整備	1次	A	建物の歪みや雨漏り（すが漏り）など老朽化が年々酷くなっており、子どもたちが安全安心に生活できる居場所をつくるには早急に改修が必要である。
					WG	C	他施設との共有、連携は可能か？検討が必要。
					外部	C	建物の老朽化含め、建替えが必要。
					2次	C	複合施設を視野に入れた建替えを検討していく必要がある。
	地域文化の継承と創造	文化芸術振興事業	273	市民と協働による文化芸術推進事業	1次	B	成果指標の達成度が低い。
					WG	B	1次評価のとおり。長い目で見た方が良い。来場者数は提示。来場者以外へもアンケートを実施してみようか？
					外部	B	1次評価のとおり。
					2次	B	1次評価のとおり。
275			市民文化祭事業	1次	A	市内で活動する文化芸術団体にとって、貴重な活動発表の場であるとともに、多くの市民が文化芸術に触れる機会であることから、予算の範囲内で継続して事業を実施する必要がある。	
				WG	B	1次評価のとおり。参加者の減少の検討が必要。	
		外部		A	1次評価のとおり。		
		2次		A	1次評価のとおり。		
歴史や文化財の継承		277	文化財の保護と伝承活動の支援	1次	A	次世代へ名寄市民共通の文化財を引継ぐためには現状維持が望ましい。	
				WG	A	1次評価のとおり。アウトカムは、アウトプットの実績数にする。	
				外部	A	1次評価のとおり。	
				2次	A	1次評価のとおり。	